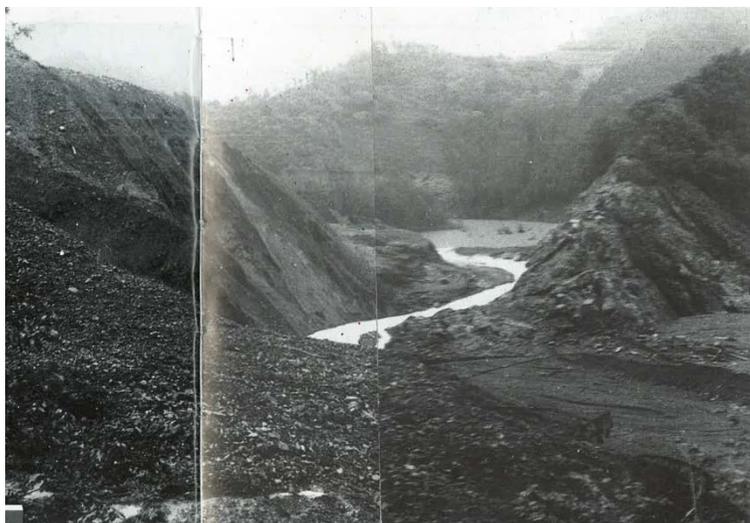




決壊前の花園村金剛寺天然ダム(昭和28年8月17日撮影)

写真出典: 7/18水害写真集(和歌山県土木部砂防課発行)



決壊後の花園村金剛寺天然ダム(昭和28年10月2日撮影)

昭和28年7月17～19日(7・18水害)の豪雨出水により、和歌山県中部を流れる有田川流域は壊滅的な被害を受けました。

この豪雨により、和歌山県花園村金剛寺にて発生した斜面崩壊は、下方を流れる有田川を堰き止め、高さ約60m、堰き止め長さ500m、堰き止め幅480m、推定湛水量1700万 m^3 の天然ダムを形成しました。

同天然ダムは、その後同年9月25日の台風に伴う豪雨で決壊し、下流に被害を及ぼしている。